

作業学実習 2 にて陶芸が始まりました (2026.4)

2026年5月11日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

本校では、対象者が元気になることを大切にしながら、作業療法の専門性を深めるために多様な作業活動の実習を行っています。3年生はその一環として、手回しろくろを使った陶芸（湯飲み作り）に取り組めます。粘土をこねる、形を整える、ろくろを回す動作は、上肢の筋力や巧緻性、力加減の調整、座位保持の向上につながります。また、作業に集中する時間は気分転換やリラックス効果を生み、作品の完成は達成感を高めます。湯飲み作りを通して、活動分析や難易度調整など作業療法士に必要な視点を養います。



まずは粘土を練ります



湯飲みの底の形を決めます



湯飲みの形になったら縁を整えて



焼き上がりが楽しみです